公益財団法人 大学セミナーハウス

# 2025年度（令和7年度）事業計画

大学セミナーハウス
INTER-UNIVERSITY SEMINAR HOUSE

# １．法人の概況

大学セミナーハウスは、多摩丘陵の広大な自然の中にある「開かれた教育研修施設」である。
豊かな自然の中で学生と教員が寝食を共にして、学び交流する場として、毎年国内外から多くの方々に利用されている。
常に創設の理念に基づき、大学教員と学生および社会人に、教育研修の宿泊施設を提供しながら、学生対象のセミナーだけでなく大学教員・職員・社会人対象の主催セミナーの実施にも力を注ぎ、日本の高等教育に少なからぬ貢献を果たしてきた。

## 沿革

1962年　財団法人大学セミナーハウス設立
1965年　開館　開館記念・第1 回大学共同セミナー
2005年　開館40周年 留学生会館落成
2006年　さくら館開館
2011年　公益財団法人へ移行
2016年　開館 50 周年記念会・新食堂棟「Dining Hallやまゆり」落成祝賀式
2019年　行政庁を東京都から内閣府に変更（2019年3月26日付認定）

## 敷地面積　約74,000㎡（22,400坪）

## 施設等

**本館**（フロント、ラウンジ、多目的ホール、理事長・館長室、事務室）
**宿泊施設**　7棟（宿泊室111室）・収容定員　296人（留学生会館　25人　本館 3人を含む）
**セミナー室**（講堂・本館多目的ホールを含む）　20室（10名～150名まで利用可能）
**食堂棟・留学生会館（国際館ANNEX）・多目的広場（グランド）、BBQプラザ、BBQスクエア**

**会員**　協力会員23校　準協力会員5校　賛助会員12法人　千人会会員165人（2024/10/31現在）

## ２．基本方針

2020年から3年間続いた新型コロナウィルス感染拡大の影響を受け宿泊・研修での施設利用が激減し、各種セミナーのあり方も一変した。 また、コロナ禍がある程度収束した2023年度、2024年度においても、その影響は残り全くコロナの影響を受けなかった2018年度以前の利用者数を取り戻すことはできなかった。2024年度の宿泊利用者数を25,000人として予算計上したが、いまだに続くコロナ禍とその影響による生活様式の変化に伴う利用者数の減少は明らかであり、2024年度の推定宿泊利用者数を23,000人とした。

2025年度事業計画では、こうした利用者減少傾向を前提に、宿泊利用者数を24,000人とし、さらに物価高騰によるコストの上昇、建物・施設設備の老朽化などセミナーハウスを取り巻く環境の危機的変化への対応を踏まえながら計画策定にあたった。

### VISION 1 理念の実現

1. 豊かな自然環境の中で学生と教員とが起居を共にし、思索・討議し、談話を交え、人格的接触を図るための場を提供する
2. 国公私立の壁を越えた学生、教職員の学びと交流の場を提供する

### VISION 2 伝統の継承

1. 高等教育の発展に貢献すべく多様なセミナー事業を企画・展開していく
2. 全国大学の学生、教職員のための研修利用を一層促進させていく

### VISION 3 新たな展開

1. 法人の目的達成と経常収支の点からの事業見直し（新たなニーズへの対応・環境整備とサービス提供）
2. 千人会を含む新規会員の獲得と会員を含むステークホルダーによる支援体制の確立
3. afterコロナにおける利用者回復・新規開拓施策の展開

### 【3つのVISIONの実現を目指して展開する5施策】

セミナーハウスVISIONを見据えつつ、具体的な事業計画を実現するために、重点施策6項目を掲げる。

Ⅰ．セミナー事業等の見直し
Ⅱ．宿泊利用者数の回復・増加施策
Ⅲ．広報活動と連携・協力体制の強化
Ⅳ．財政基盤の立て直し
Ⅴ．法人としての基盤整備

## ３．2025年度事業計画策定にあたっての要点

### ① afterコロナにおける宿泊事業収益の回復

新型コロナウイルス感染症の位置づけは、2023年5月８日から「5類感染症」になったが、利用者数は予想に反して回復せず2023年度21,746人、2024年度推定23,000人と、両年度とも予算における利用者数25,000人には及ばない結果となった。2025年度においても宿泊を伴う研修等による利用者数がコロナ禍以前の水準（3万人超）に到達するのは困難であると思われる。

そこで2025年度事業計画では、収益の予算編成上の基礎数値である宿泊利用者数を24,000人とし、事業計画における努力目標を27,000人にすることとした。

この予算上の宿泊利用者数を達成するには、「これまで継続的に利用していただいた顧客の呼び戻し」と「新たな顧客獲得」を目指した重点施策が求められる。

### ② 物価高騰によるコストの上昇と総人件費の見直し

昨年度は、電気料を中心とした光熱水費、その他物価の高騰に対応して宿泊利用料・食事代の値上げと料金体系の変更（通常料金とハイシーズン料金）を行うなど各種料金への転嫁を行ってきた。

しかし、2025年度においても、さらに物価の高騰を見込まざるを得ず、加えて当法人の業務量の増加、東京都最低賃金の引き上げ、世間の賃金動向などから当法人の総人件費の見直しは避けられない。

### ③機器備品の老朽化に伴う修繕・取替更新費用の増加見込み

開館以来59年を経過した2024年度においては、宿泊事業のインフラとも言える給排水関係設備・機器、空調機器、警報機、給湯器等の修繕・取替更新への対応が多発した。2025年度においても、同様の対応を想定せざるを得ず、予算において固定資産取得、修繕費を相当額計上する必要がある。

### ④提供サービスの維持向上とコスト削減を追及した抜本的見直し

機器備品の老朽化により修繕・取替更新の頻度が高まっているだけではなく、コロナ以降IT・視聴覚関連サービスの質の向上が求められている。コスト削減とサービスの維持向上を図るべく、2024年度期中から以下の方針で臨んでおり、2025年度においてもこの方針を継続する。

◎旧来の取引慣習から脱却し、取引業者の見直しにより経費およびアフターケアを合理化する

◎IT・視聴覚関連の提供サービスをユーザー視点で抜本的に見直す

# 2025年度 大学セミナーハウス事業計画の概要図

## 2025年度事業計画策定にあたっての要点

① afterコロナにおける宿泊事業収益の回復

② 物価高騰によるコストの上昇と総人件費の見直し

③機器備品の老朽化に伴う修繕・取替更新費用の増加見込み

④提供サービスの維持向上とコスト削減を追及した抜本的見直し

**大学セミナーハウス ビジョン**

VISION1　理念の実現
VISION2　伝統の継承
VISION3　新たな展開

**主要な事業**

- ◆ 宿泊事業
- ◆ セミナー事業
- ◆ 留学生支援事業

**設立時の理念**（公益財団法人としての理念と目的）

大学という機構の外にあって、大学教育並びに大学相互の交流に協力
国公私立大学が教育活動を通じて相互交流する場

重点施策
5項目
Ⅰ～Ⅵ

## 【3つのVISIONの実現を目指した重点施策5項目】

### Ⅰ セミナー事業等の見直し

- ・主催セミナー開催方式の多様化と補助金活用
- ・学長懇談会の継続開催
- ・留学生支援事業の維持継続
- ・地域との関係構築活動

### Ⅱ 宿泊利用者数の回復・増加施策

- ・施設の整備と設備・備品の充実（更新・修繕）
- ・宿泊環境の整備・改善
- ・特性を活かした利用促進（ドローン・音楽・建物・測量等）
- ・各種宿泊・利用プランの展開

### Ⅲ 広報活動と連携・支援・協力体制の強化

- ・各種メディアを活用した広報活動の展開
- ・会員との関係深化と会員数の維持・拡張施策
- ・関係周辺組織等との連携強化

### Ⅳ 財政基盤の立て直し

- ・収益性を見据えた中長期的計画の策定
- ・各事業ごとの収支の健全化
- ・事業・事務組織再編に伴う人員配置の適正化
- ・新会費基準での運営

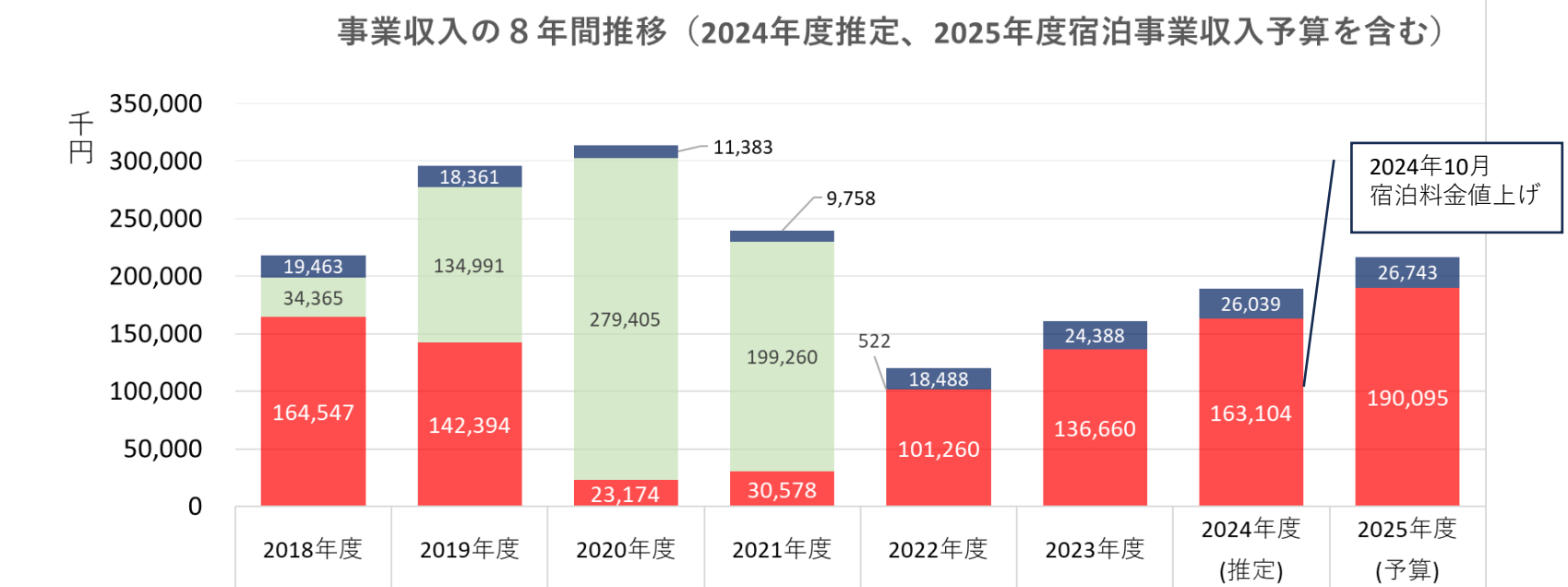
### Ⅴ 法人としての基盤整備

- ・事務局組織の再編成
- ・情報の共有と広報マインドの醸成
- ・関係規定の整備

**支援・協力体制**

- 協力会員　高等教育機関
  - 正協力会員
  - 準協力会員
  - 地方協力会員
- 賛助会員　企業・団体
- 千人会　個人会員

# ＜参考＞ 事業収入内訳の推移




| | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度(推定) | 2025年度(予算) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| その他の事業収入 | 19,462,597 | 18,360,676 | 11,383,308 | 9,758,251 | 18,487,939 | 24,387,784 | 26,039,216 | 26,743,000 |
| 教免更新受講料 | 34,364,500 | 134,991,000 | 279,405,000 | 199,260,000 | 522,000 | | | |
| 宿泊事業収入 | 164,546,715 | 142,393,946 | 23,174,409 | 30,578,130 | 101,259,857 | 136,659,781 | 163,104,309 | 190,095,000 |

## 事業収入の８年間推移（2024年度推定、2025年度宿泊事業収入予算）

| | 宿泊事業収入 | 教免更新受講料 | その他の事業収入 | 宿泊利用者数 | 事業収入計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 2018年度 | **164,546,715** | 34,364,500 | 19,462,597 | 31,903 | **218,373,812** |
| 2019年度 | **142,393,946** | 134,991,000 | 18,360,676 | 26,605 | **295,745,622** |
| 2020年度 | **23,174,409** | 279,405,000 | 11,383,308 | 2,244 | **313,962,717** |
| 2021年度 | **30,578,130** | 199,260,000 | 9,758,251 | 4,105 | **239,596,381** |
| 2022年度 | **101,259,857** | 522,000 | 18,487,939 | 16,007 | **120,269,796** |
| 2023年度 | **136,659,781** | | 24,387,784 | 21,746 | **161,047,565** |
| 2024年度(推定) | **163,104,309** | | 26,039,216 | 23,000 | **189,143,525** |
| 2025年度(予算) | **190,095,000** | | 26,743,000 | 24,000 | **216,838,000** |

## 2025年度予算宿泊事業収入

| 宿泊種別 | 利用者数 | 収益計 |
|---|---|---|
| 学生宿泊計 | 18,480 | 135,577,000 |
| 社会人宿泊計 | 5,520 | 54,518,000 |
| 合計 | **24,000** | **190,095,000** |

| 事業収入 |
|---|
| 宿泊事業収入（学生・社会人） |
| セミナー事業収入 |
| 教免更新受講料収入（2021年度で終了） |
| 留学生支援事業収入 |
| 土地等貸付事業収入 |

# ＜参考＞　主な経費の推移と対事業収入比率

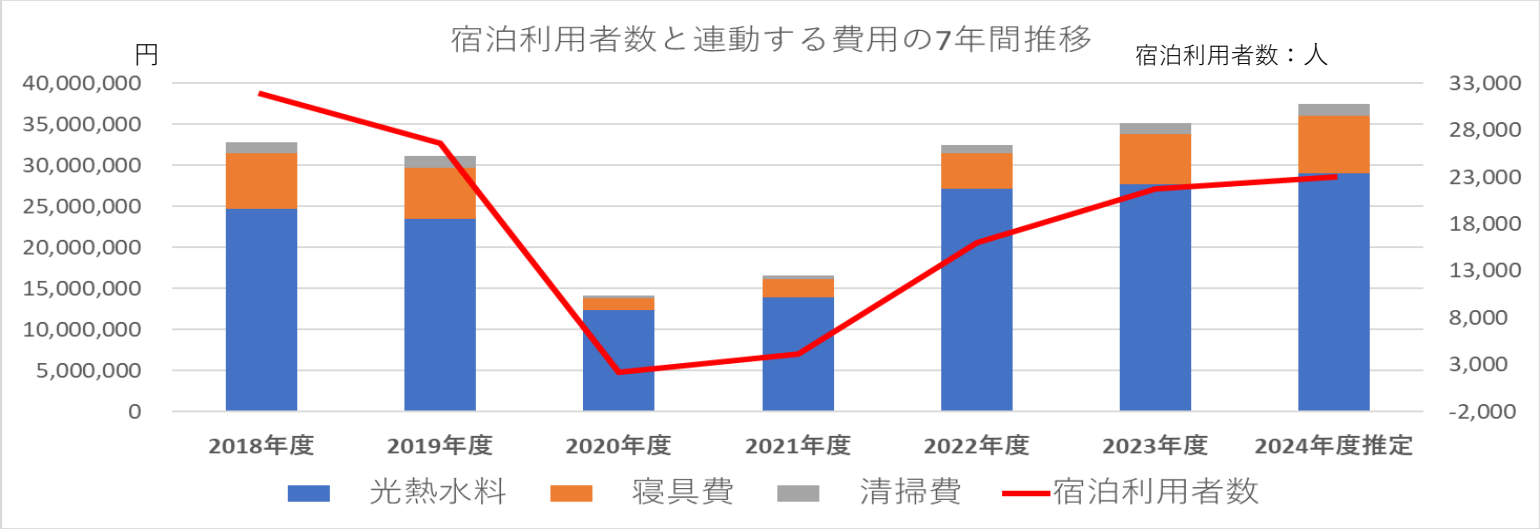
| | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度推定 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業収入 | 218,373,812 | 295,745,649 | 313,962,717 | 239,596,381 | 120,269,796 | 161,047,565 | 189,143,525 |

人件費比率及び管理委託費の７年間推移

| | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度推定 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 人件費 | 80,015,386 | 95,547,512 | 84,367,477 | 86,709,125 | 68,940,243 | 69,749,037 | 75,022,000 |
| 管理委託費 | 73,148,345 | 106,721,752 | 148,293,513 | 112,296,761 | 31,052,049 | 37,318,510 | 41,028,991 |
| **人件・管理委託費** | **153,163,731** | **202,269,264** | **232,660,990** | **199,005,886** | **99,992,292** | **107,067,547** | **116,050,991** |
| 人件費/事業収入 | 36.6% | 32.3% | 26.9% | 36.2% | 57.3% | 43.3% | 39.7% |
| 人件・管理委託費/事業収入 | **70.1%** | 68.4% | 74.1% | 83.1% | 83.1% | 66.5% | **61.4%** |

宿泊利用者数と連動する費用の７年間推移

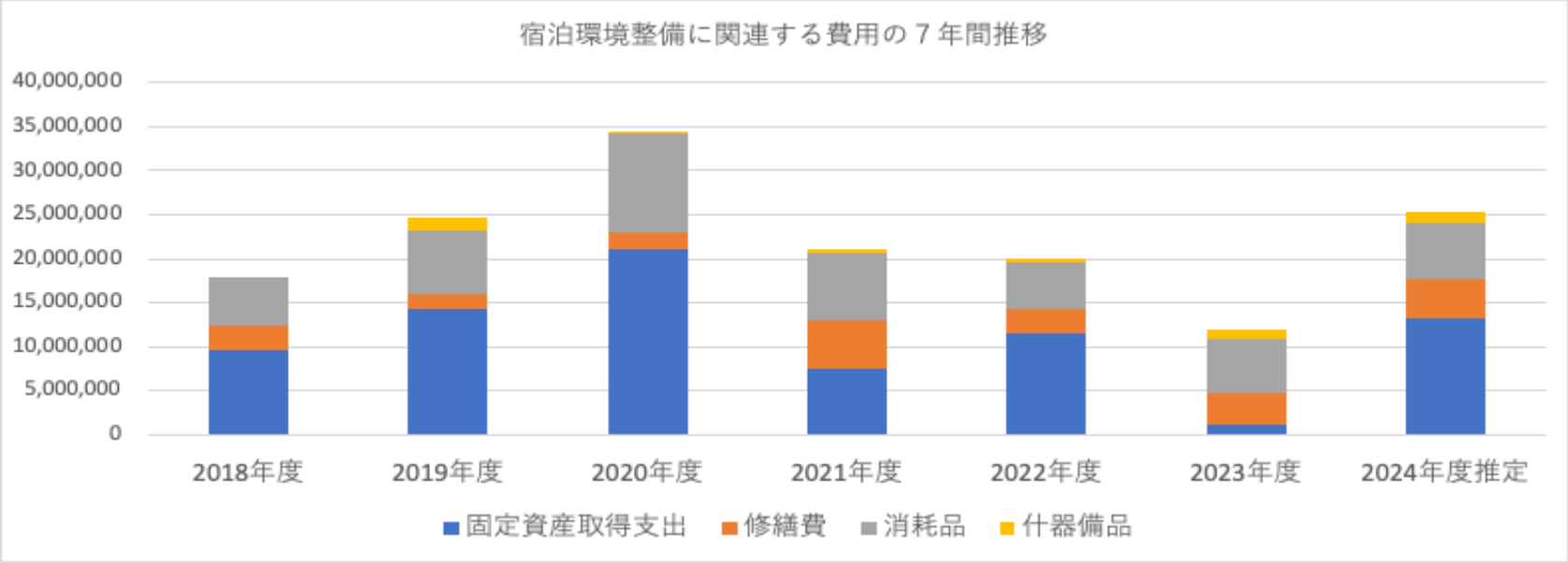
| | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度推定 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 光熱水料 | 24,701,532 | 23,496,730 | 12,328,122 | 13,865,659 | 27,191,287 | 27,705,622 | 29,085,081 |
| 寝具費 | 6,777,036 | 6,179,895 | 1,433,066 | 2,254,262 | 4,312,472 | 6,166,298 | 6,921,081 |
| 清掃費 | 1,309,393 | 1,428,911 | 421,438 | 459,752 | 994,156 | 1,312,653 | 1,452,000 |
| **計** | **32,787,961** | **31,105,536** | **14,182,626** | **16,579,673** | **32,497,915** | **35,184,573** | **37,458,162** |
| **宿泊利用者数** | **31,903** | **26,605** | **2,244** | **4,105** | **16,007** | **21,746** | **23,000** |
| 対事業収入比率 | 15.0% | 10.5% | 4.5% | 6.9% | 27.0% | 21.8% | 19.8% |



| 事業収入 | 218,373,812 | 295,745,649 | 313,962,717 | 239,596,381 | 120,269,796 | 161,047,565 | 189,143,525 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

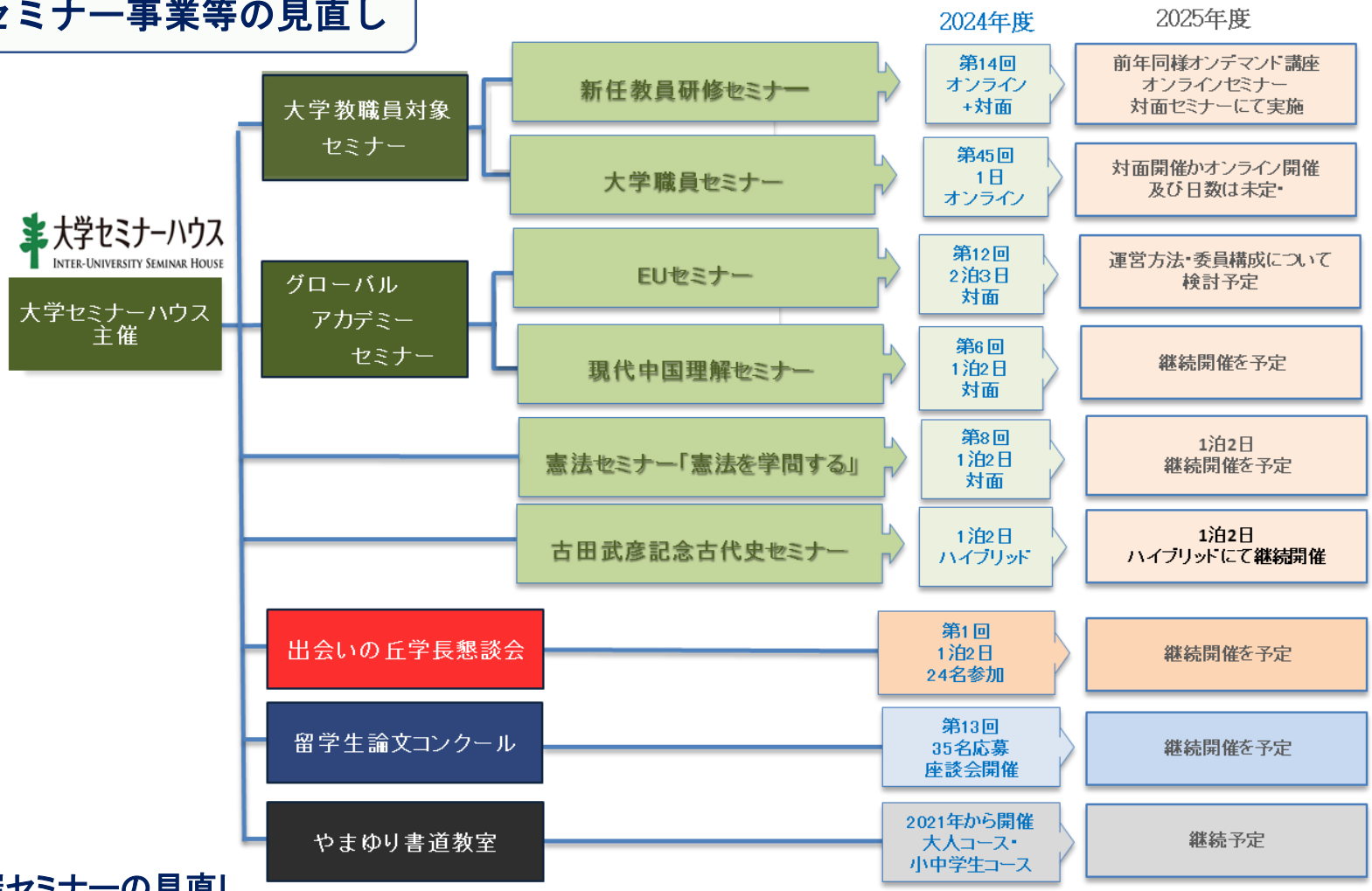
宿泊環境整備に関連する費用の7年間の推移

| | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度推定 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 固定資産取得支出 | 9,615,194 | 14,170,386 | 21,133,253 | 7,520,420 | 11,545,418 | 1,161,820 | 13,295,200 |
| 修繕費 | 2,735,902 | 1,792,357 | 1,848,224 | 5,463,541 | 2,746,535 | 3,635,170 | 4,300,000 |
| 消耗品 | 5,579,343 | 7,321,901 | 11,167,999 | 7,597,300 | 5,264,057 | 6,039,345 | 6,500,000 |
| 什器備品 | 0 | 1,439,406 | 207,085 | 442,420 | 416,900 | 1,194,390 | 1,291,400 |
| **計** | **17,930,439** | **24,724,050** | **34,356,561** | **21,023,681** | **19,972,910** | **12,030,725** | **25,386,600** |
| 対事業収入比率 | 8.2% | 8.4% | 10.9% | 8.8% | 16.6% | 7.5% | 13.4% |
| 主な固定資産取得 | 松下館火災報知器設置他 | ポンプ取替<br>カードシステム | 講堂・イス等<br>講堂換気 | 留学生シャワートイレ25室 | 留学生エアコン26台 | | 中央セミナー室室外機 |



# ４．ビジョン実現を目指す5つの施策

## Ⅰ．セミナー事業等の見直し




### （1）主催セミナーの見直し

2025年度は、新任教員研修セミナーでは、2024年度に引き続きオンデマンド講義、オンラインセミナー、最後に1泊２日の対面セミナーでの開催、古代史セミナーは引き続きハイブリッド方式の開催、その他は対面宿泊型の開催を予定しているが、憲法セミナーについては、オンデマンドの特別講義の視聴も可能とした。
また、2025年度についても、外部資金の導入も視野にセミナー運営を見直すこととして計画策定した。

# ＜参考＞ 2024年度開催の主催セミナー

2024年度主催セミナーの「テーマ」・「日程」・「開催方式」の実績は以下の通りである。

【大学教職員対象】

① 第14回新任教員研修セミナー 「生成AIによって拓かれるデジタル拡張下のアクティブ・ラーニング」
オンラインセミナー（Zoom） 8月1日（木）13:00～15:00
オンデマンド講義 視聴 7月31日（水）配信開始
対面セミナー（1泊2日） 8月19日（月）～20日（火）
参加者：12大学 19名

② 第45回 大学職員セミナー 「大学における紛争の予防と解決をリードする
～法務知識に学ぶ初期対応の重要性と戦略策定～」
オンライン開催 11月19日（火） 参加者：9大学 16名

【グローバルアカデミーセミナー】

③ 第12回 EUセミナー「分裂する世界に立ち向かうEU ―デモクラシーとグローバルな連帯」
2泊3日対面 10月11日（金）～13日（日）2泊3日 参加者： 9校 66名
＊MICE助成金申請額 336,000円

④ 中国セミナー 現代中国理解Ⅵ「習近平政権三期目の課題：自己認識と外からの目線」
1泊2日対面 12月7日（土）～8日（日） 参加者：32名 ＊MICE助成金申請額 100,000円

【対象を限定しないセミナー】

⑤ 古田武彦記念古代史セミナー2024「倭国から日本国へ～東アジア外交の視点から」
1泊2日ハイブリッド方式 11月11日（土）～12日（日）
参加者：59名（会場参加者39名・オンライン参加者20名） ＊MICE助成金申請額 110,000円

⑥憲法セミナー 憲法を学問するⅧ 「憲法と憲法学ー1964～2024ー」
1泊2日対面 11月23日（土）～24日（日） 参加者：34名 ＊MICE助成金申請額 108,000円

## （2）出会いの丘学長懇談会の継続開催

2024年11月15日・16日に大学セミナーハウス主催で学長懇談会を開催した。
2025年度においても継続開催する。
「出会いの丘学長懇談会２０２４」については、報告事項4）で報告する。

## （3）留学生支援事業の維持継続

①「留学生論文コンクール」の継続開催
2022年度：開催資金をクラウドファンディングで調達し開催、入賞者座談会の開催（オンライン）
2023年度：論文コンクールを休止し、過去の入賞者による座談会の開催（オンライン）
2024年度：2022年度と同様にクラウドファンディングによる資金調達
・ 論文コンクール及び入賞者座談会の開催（オンラインによる）
2025年度：引き続き実施予定（クラウドファンディングによる資金調達）
・ 2024年度と同様に論文コンクール及び入賞者座談会の開催（オンライン）

② 留学生会館の生活環境の整備
2021年度：全室のトイレをシャワートイレに取替更新
2022年度：全室のエアコンを取替更新（1室1台の室外機）

## （4）地域との関係構築活動

①やまゆり書道教室の継続 （第1回：2021年10月13日）
大人コース＜大人の書道教室＞ 月２回、毛筆（かな書道を中心に基礎から）
小中学生コース＜小中学生書道教室＞ 月２回 毛筆、硬筆の学習、競書誌による級・段の認定あり

②地域の倉郷美化清掃会への参加
大学セミナーハウスのグランドを利用する幼体連スポーツクラブの子供達とともに夏冬２回参加する。

## Ⅱ．宿泊利用者数の回復・増加施策

過去7年間の宿泊利用者数と宿泊事業収益の推移は以下の図表の通りである。

**月別宿泊利用者数の過去7年間推移（2024年度：上期実績）**

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 学生 | 社会人 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **2018年度** | 3,645 | 2,033 | 2,643 | 2,974 | 5,107 | 3,395 | 1,455 | 1,694 | 2,266 | 1,113 | 2,038 | 3,540 | **31,903** | 25,474 | 6,429 |
| **2019年度** | 3,085 | 2,239 | 2,294 | 3,101 | 4,877 | 3,408 | 1,290 | 2,132 | 1,635 | 355 | 1,930 | 259 | **26,605** | 20,744 | 5,861 |
| **2020年度** | 127 | 0 | 14 | 130 | 207 | 317 | 264 | 446 | 287 | 102 | 133 | 217 | **2,244** | 1,496 | 748 |
| **2021年度** | 327 | 18 | 86 | 601 | 414 | 158 | 793 | 513 | 556 | 54 | 50 | 535 | **4,105** | 3,045 | 1,060 |
| **2022年度** | 1,418 | 679 | 1,065 | 1,708 | 2,150 | 1,277 | 1,236 | 961 | 1,650 | 449 | 1,320 | 2,094 | **16,007** | 12,480 | 3,527 |
| **2023年度** | 1,695 | 1,762 | 1,463 | 2,258 | 3,874 | 2,296 | 1,312 | 1,490 | 1,528 | 776 | 946 | 2,346 | **21,746** | 16,821 | 4,925 |
| **2024年度** | **2,095** | **1,687** | **1,503** | **2,702** | **4,100** | **2,123** | 997 | 1,415 | 1,317 | 566 | 559 | 1,671 | **20,735** | **10,986** | **3,224** |

**上期計 14,210**

**予約11/24現在**

＜参考＞
4月～10月の利用者数

| | |
|---|---|
| 2018年度 | 21,252 |
| 2019年度 | 20,294 |
| 2020年度 | 1,059 |
| 2021年度 | 2,397 |
| 2022年度 | 9,533 |
| 2023年度 | 14,660 |
| 2024年度 | 15,207 |

**2024年度推定決算宿泊事業収入**

| 宿泊種別 | 利用者数 | 収益計 |
|---|---|---|
| 学生宿泊計 | 18,076 | 118,366,994 |
| 社会人宿泊計 | 4,924 | 44,737,315 |
| 合計 | 23,000 | 163,104,309 |

**2024年度予算宿泊事業収入**

| 宿泊種別 | 利用者数 | 収益計 |
|---|---|---|
| 学生宿泊計 | 19,500 | 115,880,000 |
| 社会人宿泊計 | 5,500 | 43,870,000 |
| 合計 | 25,000 | 159,750,000 |

◆ 宿泊利用者数の拡大を目指して、以下の（1）～（5）の取り組みを推進する。

## （1）施設の整備と設備・備品の充実

**2025年度の計画（現段階での固定資産取得予定）**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 講堂　音響ミキサー・アンプ・ワイヤレスマイク交換 | 1,881,000 | 本館1階フロントエアコン交換 | 1,650,000 |
| 宿泊室エアコン15台交換 | 3,450,000 | 予備費 | 3,000,000 |
| 本館地下キュービクルトランス交換 | 3,000,000 | | |
| | | 予算計上額 | **12,981,000** |

## （2）中長期的なライフサイクル修繕計画の策定

① 建物、構築物、設備等すべてを経営にとって最適な状態（コスト最小、効果最大）で保有し・運営し、維持するための総合的な管理体制の構築

② そのための中長期的なライフサイクル修繕計画と資金計画の策定

## （3）特性を活かした利用促進

大学セミナーハウスの特性と利用傾向を調査分析し、利用促進を図る

① ドローン関係団体の誘致
ドローンの飛行場所として最適な環境を前面に打ち出し、関係団体の研修等を誘致する。

② 建造物としての価値を利用した見学ツアー、コラボ企画、ネットワーク構築
〇DOCOMOMO Japan　1999年日本の代表的近代建築20選に選定
〇本館が2017年3月に東京都歴史的建造物に選定

③ 建設会社・建築系学部学科による測量実習での利用促進
広い敷地と起伏に富んだ地形が測量実習に適している。

④ 音楽関係者の利用促進
防音設備を完備した講堂および中央セミナー室は楽器演奏や合唱の練習場所として適している。

⑤ 教育機関・NPO・公益法人等、当法人と親和性の高い対象の利用促進
メイン顧客（教育機関）の利用拡大と利用増加傾向のNPO・公益法人等への直接広報

## （4）各種宿泊・利用プランの展開

① 留学生短期滞在応援プラン
海外から短期留学する学生・教職員を対象に客室を格安で提供する、特別割引料金プラン

②学生向け遠征宿泊プラン
スポーツ大会、音楽コンクールの遠征などに利用できる「キャンセル優遇規定」を盛り込んだお得なプラン

③平日・社会人宿泊プラン＜新規＞
平日、社会人限定の宿泊と食事（夕朝食）がセットの格安プラン（閑散期限定）

④長期滞在プラン＜新規＞
平日限定、2泊から、長期館一棟貸切の宿泊と食事（夕朝食）がセットの格安プラン（閑散期限定）

## （5）既存会員との連携強化と新規加入の促進

① 既存会員との関係深化　②地方協力会員候補大学の選定と折衝　③新千人会入会促進

## Ⅲ. 広報・営業活動の強化と連携・協力体制の再構築

### （1）各種メディアを活用した広報活動の展開

① ホームページの更なる充実（随時修正・改善）
サーバのメンテナンス及び監視委託契約の継続

② 独自メディアの発行（継続）
「セミナーハウスニュース」、「FANBOOK」、「法人案内」、「メールマガジン」の形式・送信先の見直し

③ 研修・合宿施設Web検索サービスの活用
CO−MIT（コミット）の活用による施設利用促進

④ SNS（「Instagram」、「FaceBook」、「X（旧Twitter」）の積極的活用
「Instagram」のリール動画作成・発信と「FaceBook」とのリンク等による情報発信

⑤ 各種メディアを活用した60周年記念キャンペーンの展開

### （2）会員との関係深化と会員数の維持・拡張施策

① 協力会員協議会運営委員会 （2020年度新設）
協力会員・賛助会員からなる運営委員会開催と運営委員との継続的な情報交換

② 学長懇談会参加者に配布の「入会のご案内」を広く配布、特に地方協力会員としての入会を勧める

### （3）関係周辺組織等との連携強化

① 八王子市と八王子観光コンベンション協会（事業者ネットワーク）等との連携
コンベンション協会（2020年度入会）、大学コンソーシアム八王子（会員）
東京たま未来メッセ（大展示室・会議室等を有する施設が2022年10月オープン）：宿泊利用に繋がる施設

② アートビレッジの利用者との協力関係・連携を強化
アートビレッジ連絡会の開催と協力企画の実施

③ 地域の各種会合への積極参加と広報・営業活動
八王子商工会議所、八王子法人会、倉郷自治会との連携、たましんのネットワークを活用した営業

## Ⅳ. 財政基盤の立て直し

### （1）収益性を見据えた中長期的計画の策定

① 収益直結の宿泊環境整備・改善計画の策定

② 今後の建物および機器備品のライフサイクルコストの算定と中長期修繕計画の策定

### （2）各事業ごとの収支の健全化

① 各事業収益の向上と経常増減額の改善

② 各事業の採算性の点検評価と継続の可否を判断

③ 法人全体の財政状況を見据えた
大胆な経費削減（ゼロベースのコストカット）

### （3）事業・事務組織再編成と業務の効率化

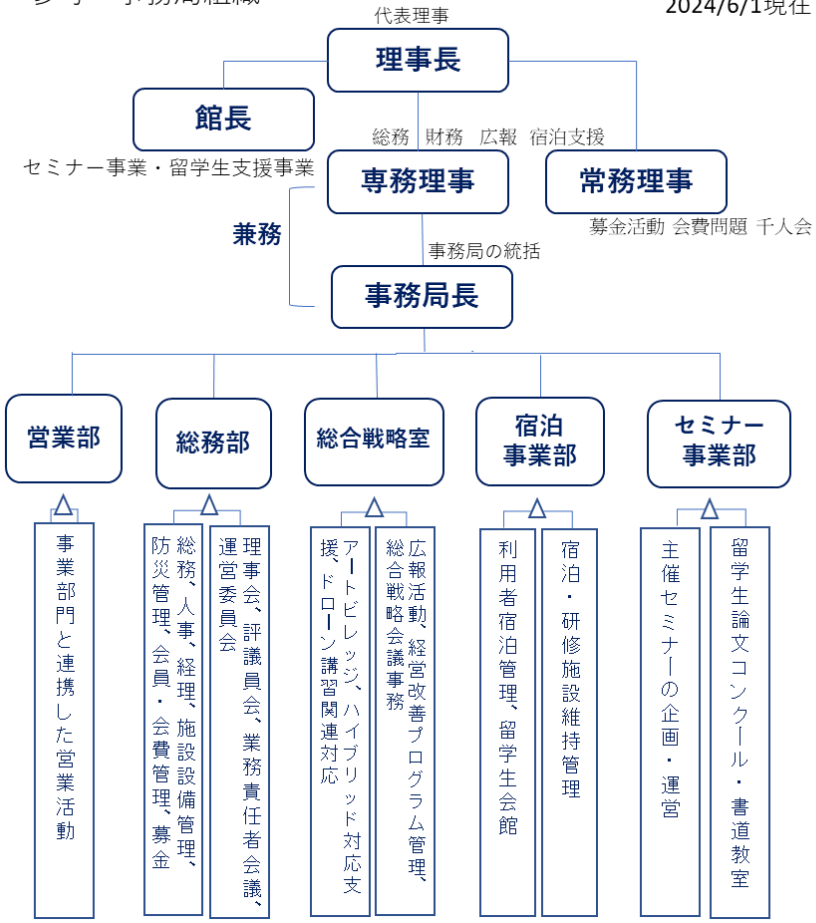
① 経常費に占める人件費比率の適正化を図る

② 縦割りの組織に横串を通す横断的な業務執行体制により業務の効率化を図る⇒総合戦略室の新設

③ 不要な業務を見極めるなど業務の効率化を図り、残業を削減する

＜参考＞事務局組織

2024/6/1現在




## Ⅴ. 法人としての基盤整備

### （1）変化に対応可能な柔軟な組織風土

組織の硬直化を避け横断的な業務執行体制

### （2）情報と課題認識の共有

ビジネスチャットツールSlackの有効活用
Slackを通じて常にトップマネジメントがコミット

### （3）リテンションマネジメント

組織内コミュニケーションの活性化と処遇の改善等による離職の抑制